



浦和学院初V

◇決勝

济美	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
浦和学院	0	0	0	0	7	2	0	8	×	17

選抜埼玉勢45年ぶり

第85回選抜高校野球大会は3日、甲子園球場で決勝を行い、浦和学院(埼玉)が済美(愛媛)を17-1で破って、春夏を通じて初めての優勝を果たした。埼玉県勢としては1968年の大宮工以来、45年ぶりの優勝となる。

春夏通じて初の決勝に進んだ浦和学院は二回に1点を先行された。ここまで全試合完投している済美の2年生投手の安楽に要

所を締められて得点機を作りきれなかった。

しかし、五回に6番斎藤の右前打を足掛かりに、続く7番西川の中越え二塁打で無死二、三塁から8番小島が三遊間を破るタイムリーでまず同点。その後、2死となったが、相手エラーなどで満塁と攻め立てると3番山根から4者連続タイムリーが飛び出し、この一回一挙7点。完全に試合の主導

権を握った。

先発の2年生小島は1点こそ先行されたが、丁寧な投球で強打の済美打線の反撃を許さない。昨年夏に1年生で甲子園を経験したことが生きた。

六回には2死満塁で、5番木暮が中前タイムリーを放ち2点。八回には決定的な8点を追加して大量点差をつけ、紫紺の優勝旗を手にした。



【浦和学院-済美】埼玉勢として45年ぶりの優勝を決め、喜ぶ浦和学院ナイン=3日午後、甲子園球場(志儀駒貴撮影)